

フリー・ザ・チルドレン

9月26日(木)、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンによる講話がありました。世界の子どもたちの現状をゲームを通して知り、「子どもたちをFREE(自由)にする」という活動を学びました。

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンはカナダの12歳のクレイグ少年によって設立されたFreeTheChildrenのパートナー団体として1999年に活動を始めた団体です。
(<https://ftcj.org/freethechildrenprogram>)



📄 講演メモ 📄
**子どもだからこそ
できること**



<以下、講話後のアンケートより>

- ・小さなことでもなにか変化できるんだなと思いました。
- ・私たちと同じ年の子どもも働いてる子がいたり、学校に行けない子もたくさんいるから今当たり前前にできてる生活が幸せなんだなと思った。その中で私たちにできることを探して行きたいと思った。
- ・貧困から抜け出すために働いたり、乞食になったりするのになにかあって結局また貧困から抜け出せなくなってしまうのがかわいそうだなと思った。
- ・問題があると知っていても行動をするのが難しいことに気づきました。行動をしようとしても何をすればいいかわからなくて結局何もせずになっちゃうことが多いと思います。
- ・カードゲームを4人でやって、なにを引いても過酷だったから、こんな境遇に実際なっている子がたくさんいるんだなとおもうと世界って広いなとおもった。
- ・gift+issue=changeなどという自分の好きなこと、自分にできること、それをする事で何が変わるのかなどを考えることができました。
- ・安全なご飯を食べ、自分の望む将来に向かって進んでいる私たちが、今この世界のために何ができるのか、改めて考えようと思った。
- ・日本には児童労働があまりないことはすごいことだと思った。外国では学校に行くことが当たり前じゃないことがわかったからこれからの学校生活大切に生きていきたいと思った。
- ・私の日常の中にある安いはとても嬉しいことが多かったけど、その裏には同じ年の子どもが一日中働いて出来上がっているものなのかもしれないと気づき、心が痛くなりました